

# 2024年度授業科目一覧

1. 医療政策						必修科目		
科目	1. 医療政策概論		科目コード	4 1 0 5		医療管理	医療政策	
科目責任者	岡田 就将（医科歯科大）		単位	1	担当大学			A
わが国の医療は、国民皆保険など諸制度の下で提供されている。同時に、通知なども含めれば、これらの制度は医療技術の進歩や社会情勢の変化に合わせ、絶え間なく見直しがなされている。常に見直しがなされていること自体が医療政策の特徴と言える。医療政策は医学、法学、行政学、財政学などがオーバーラップする領域に位置し、各国においても社会文化政治を背景に多岐に富んだ制度の下運営されている。このことは、医療政策に正解はないことを示している。医療政策を正しく理解し、その提案者となるためには、政策の企画立案及びその見直しの過程をつぶさに観察するという地道なところから始めなければならない。本科目では、この先への足場として政策づくりの現場の雰囲気を知ることに重点を置く。このため、医療政策の基本骨格を理解した上で、政策企画立案の第一線で活躍している講師陣からの講話を交え、政策づくりの実際の具体的なプロセスを理解する。							○	○
科目	2. 医療社会政策論		科目コード	4 0 1 2				
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）							
担当教員	白瀬 由美香（一橋大）		単位	1	担当大学	D	○	
医療や介護の実践現場にかかわる行政・企業・施設などは、数年を単位として繰り返される制度変更により振り回されがちであり、長期的な視点を持つことは非常に難しいかもしれない。だが、私たちが暮らす社会には、30年～50年、場合によっては100年という長期の時間をかけて変化していく部分があり、それが社会システムを規定する基盤となっている。本講義では、長期的かつ大きな視点から社会構造を踏まえてケア（医療・介護等）およびケア政策を捉える視点を養うことを目的として、講義・受講生による発表・ディスカッションをおこなう。								
科目	3. 世界の医療制度		科目コード	4 0 1 3			○	
科目責任者	新城 大輔（医科歯科大）		単位	1	担当大学			A
本邦の医療制度を把握したうえで世界各国の医療制度を理解することは、多角的な視野で医療を捉えることにつながり医療管理・政策に有益である。国や地域のHealth Systemは、資源、組織、財政的基盤、マネジメント、サービス提供の各要素により特徴づけられる。英国などは税方式で医療制度を運用し、ドイツ、フランス等は公的社会保険により医療サービスを国民に提供している。また、米国は民間保険が主体であり、シンガポールのように貯蓄システムを採用している国もある。先進国、開発途上国を問わず医療制度はその国の政治、経済、文化、人口構成などの影響を受け、それぞれの国で独自の制度が発展しており、どの制度にも長所、短所がある。講義では、わが国の医療制度の特徴を十分に理解した上で、各国の制度の特徴や問題点や課題について対処すべき政策等を考える。							○	
科目	4. 医療保険論		科目コード	4 0 1 4				
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）							
担当教員	佐藤 主光（一橋大）		単位	2	担当大学	D	○	○
高齢化の進展とともに我が国の医療費・介護費用は増加の一途を辿っている。これらの費用の多くは公的な医療保険、介護保険によって賄われているが、今後、こうした公的保険制度が破綻することなく国民に保険サービスを提供し続けられるのかどうかについては不安視する向きもある。人間は一人一人が生きていくなかで様々なリスクに直面する。例えば、車を運転して事故を引き起こすリスクであるが、これには自動車保険があり民間で供給されている。一方、病気になるリスクや長生きして貯蓄が底をついてしまうリスクに対しては民間の保険もあるが、社会保障が重要な役割を担ってきており、人々は給与の割以上も公的保険に支払っている。この講義では医療、介護保険に焦点をしばって少子高齢化社会を迎えるわが国の社会保障における保険の役割と課題について考える。								
科目	5. 医療政策各論		科目コード	4 1 0 6				
科目責任者	岡田 就将（医科歯科大）		単位	2	担当大学			A
医療法に基づき、都道府県は医療計画を定めることとされている。本計画では、基準病床の設定などのほか、域内において政策医療をどのように提供するかも定めなくてはならない。2024年度からの第8次医療計画においては、今般のコロナ感染症の流行を踏まえ「新興感染症等の感染拡大時における医療」も加えた5疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患）、6事業（救急、災害、へき地、周産期、小児、新興感染症等）及び在宅医療がその対象となる。他方、医療提供体制の政策枠組みとして、医療計画と別に、個々の疾患特性等に着目した政策枠組み（主に厚労省健康局等为主导）も存在しており、医療提供体制を理解するためには両者の理解が不可欠である。特に、後者は病院や医療従事者の配置のみならず、研究開発や従事者研修、各種補助事業などニューズベースでの政策が展開されており、我が国の医療政策の特徴ともいえる。本科目では、地域医療構想や医師確保計画、外来医療計画などを含めた医療計画制度を概観するとともに、救急・災害医療、周産期・小児・感染症、がん等の疾病対策、精神保健福祉など各事項の政策枠組みおよびそのトピックスについて深堀りして学ぶ。さらには医療計画策定における当道府県行政の具体的な対応や医療制度と関連の深い介護保険制度についても学ぶ。これらの講義は、各分野の第一線で活躍している行政官、識者の講話を交えて展開する。							○	○
科目	6. 医療産業論		科目コード	4 0 1 7				
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）							
担当教員	佐藤 主光（一橋大）		単位	2	担当大学	D	○	
本講義では医療産業の全体像や着目すべき最新動向などを様々な事例を通じて講義する。日本の病院経営の現状と課題、先進的な病院経営事例を取り上げる他、情報技術を活用したヘルスケア関連ビジネスが病院や消費者に与えるインパクトについて考察する。AI・IoTなど様々なデジタル技術が普及してきている中で、グローバルな展開も含めて日本の医療産業がどのように成長していくべきかを考える。医療の産業的発展には医療関連のデータベースの整備が欠かせない。日本及び諸外国（OECDやWHO加盟国）の医療費・介護費・ヘルスケア関連費についても講義する。 医療データの活用により、どのような研究やビジネスの補助資料が作成できるか、今後の産業の発展に必要な示唆を受講者自らが考察できるようにすることを目標とする。								
科目	7. 医療経済論		科目コード	4 0 1 8				
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）							
担当教員	井伊 雅子（一橋大）		単位	2	担当大学	D	○	
本講義では医療経済学の基本的な考え方を学ぶ。医療経済学の特色及び一般経済学との相違点に言及しつつ、医療に係る様々な課題を経済学等の視点から概観する。具体的には医療職不足問題などを理論と実証の両面から取り上げる他、欧米・アジアの医療制度など国際的な観点から日本の医療の問題・課題について考える。合わせて医療従事者の立場から、医療と経済についても講義する。特に高齢社会、超高齢社会における現在の医療システム・医療教育の在り方について考える。								
科目	8. 先端医療技術・産学連携		科目コード	4 0 1 9				
科目責任者	小池 竜司（医科歯科大）		単位	1	担当大学			A
医学の発展には医療技術の開発が不可欠であり、基礎的な研究を技術化して実用可能とするためには、産学連携が重要な役割を果たしている。本講義では、まず様々な立場を意識した産学連携の現状と課題について提示し、医療技術開発の基本的なプロセスや手法を理解する。さらに、先端的な医療技術開発の動向、知的財産の取扱いについて解説し、医療技術実用化のプロセスを体系化した科学であるレギュラトリーサイエンスとして理解を深めるとともに、その意義と方向性について考える。							○	

2. 医療の質確保とリスク管理						必修科目
科目	1. 医療機関リスク管理	科目コード	4022			医療管理
科目責任者	工藤 篤 (医科歯科大)	単位	1	担当大学	A	
医療機関における医療事故と感染症対策について講述する。医療事故の分析評価手法であるインシデントレポート、RCA、FMEAなどの有効性と限界、企業のリスク専門家からみた医療安全管理上の問題点と方策、医薬品の適正使用、感染危機管理のフレームワーク、感染対策委員会・インфекションコントロールチームの組織と機能、感染症アウトブレイクに対する危機管理の実例とシミュレーションなどについて、講義・演習を行う。						○ ○
科目	2. 医療のTQM	科目コード	4023			
科目責任者	伏見 清秀 (医科歯科大)	単位	1	担当大学	A	
現代の医療に求められている質保障の範囲とレベルおよびその方法論について講述する。まず、質保障の概念、歴史、実践について製造業で培われた基本について検討する。つぎに、医療の質の3要素である医療技術水準、安全管理、患者経験について分析し、改善策を講じることが目的とする。品質管理方法としてのTQMの医療機関での導入方法について概説し、その重要なツールであるクリニカルパスの導入についても検討する。最終日には、医療機関を想定しcase studyを実施する。						○ ○
科目	3. 医療機能評価	科目コード	4024			
科目責任者	伏見 清秀 (医科歯科大)	単位	1	担当大学	A	
戦後、我が国の医療提供体制は量的な整備を中心に進められてきた。しかし近年、医療安全や医療の質、そして患者対応等のいわゆる質的な保証を望む声が強くなってきた。それに伴ってこれらの事項を測る適切な指標の確立についても研究等が精力的に進められている。講義では医療機能評価の前提となる医療の質、質的要件の考え方、経済的・財政的・診療報酬的観点からの評価、評価指標および評価方法等の諸問題、ならびに医療従事者および患者双方の立場から医療機能を向上させる方策についても考えていく。						○ ○
科目	(休講) 4. ポストコロナ社会における感染症対策	科目コード	4025			
科目責任者	藤原 武男 (医科歯科大)	単位	1	担当大学	A	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大とその対応は、社会活動や人々の日常生活に大きな影響を及ぼした。複雑化した現代社会において、長期的な感染症対策に伴う様々な課題を解決し、持続可能な新たな社会を創造するためには、分野の枠を超えた学際的な交流に基づく取り組みを活性化できる高度人材の育成が必要である。						○ ○
本コースでは、幅広い領域で第一線で活躍する専門家を講師として、講義や討論、グループワークを通じ、ポストコロナ社会において、社会と経済を回復させ、持続可能な生活を実現させるための価値創造・課題解決型スキル、対話を通じた思考と学びへの関心、理系／文系、マクロ／ミクロの視点をバランスよく理解し、協働での取り組みを推進するスキルを身につける。						

3. 医療関連法規と医の倫理							必修科目	
		医療管理					医療政策	
科目	1. 医療制度と法		科目コード	4 0 3 1				○
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）							
担当教員	磯部 哲（慶応大）		単位	1	担当大学	D		
憲法を頂点とするわが国の法体系等の基本論点を解説したのちに、医療スタッフに関する法制度（医師や看護師等の身分や業務に関する法規）、病院や医薬品・医療機器に関する法制度（医療法、薬機法等）の他、感染症医療等の現代的諸問題を法律学の視点から概観する。また、医療と刑事法の関わりについても集中的に取り上げる。日々日常の医療現場を支える法制度に関する理解を深めながら、法と医療の関わり方、法のあり方について考える。								
科目	2. 医事紛争と法		科目コード	4 0 3 2				○
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）							
担当教員	小峯 庸平（一橋大）		単位	1	担当大学	D		
実際の医療過誤事例をケーススタディとして医事紛争の実際と法的理解を扱う。すなわち、患者と病院・医師・看護師等の法的関係、民事責任、刑事責任などの法的責任、診療契約（医療契約）と契約責任、医師の説明義務・告知義務など医師と医療機関の義務、患者の同意・自己決定権などの権利義務、医事紛争の実情と原因、医療過誤の類型、医療過誤訴訟の現状と流れ、医療水準論、延命利益、医師の裁量その他の論点、医療過誤訴訟の問題点；リスクマネジメントと事故防止、実際に事故が起こった時の対応；損害賠償の実際、医師賠償責任保険の実情である。								
科目	3. 生命倫理と法		科目コード	4 0 3 3				○
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）							
担当教員	磯部 哲（慶応大）		単位	1	担当大学	D		
人の生命の始期・終期に関する諸問題、医学・生命科学の発達により惹起される法的・倫理的・社会的諸問題を、法律学の見地から検討する。以下のようなテーマを扱う予定である。①生命倫理の基本概念と医学研究規制をめぐる諸問題、②ヒト由来組織・ヒト胚の法的地位、クローン技術規制・再生医療規制、バイオバンク・コホート研究、診療情報・がん登録・遺伝情報等、③人工妊娠中絶、生殖補助医療技術、代理懐胎、出生前・着床前診断等、④終末期医療の諸問題（「安楽死」、医療の拒否・尊厳死、重度障害新生児治療等）、⑤胎死、臓器移植（生体間移植、組織・細胞移植、臓器売買等を含む）他。								

4. 病院情報とセキュリティー					必修科目
科目	1. 診療情報管理学		科目コード	4042	
科目責任者	伏見 清秀 (医科歯科大)		単位	1	担当大学 A
<p>診療情報管理の基本(歴史の経緯と法体系、診断情報の保存・保管手法、診療情報の証拠価値、電子化診療情報等)について講述し、加えて診療情報に関する倫理的課題を検討する。さらに、急性期医療における診療情報の標準化と活用が大きく影響している、DPC(diagnosis procedure combination)診断群分類とそれを用いた包括評価制度の観点から、現在求められている診療情報の精度、情報管理および医療制度設計に関して講述する。また、診療情報の活用の視点から、医療機能評価、診療プロセス評価、医療の質の評価、地域医療評価とともに医療経営評価等に関する手法の現状と将来に関して検討を加える。</p>					
科目	2. IT時代の医療診断システムとセキュリティー		科目コード	4043	
科目責任者	伏見 清秀 (医科歯科大)		単位	1	担当大学 C
担当教員	小尾 高史 (東工大)				
<p>IT時代をむかえ、患者データの管理はもとより、画像診断技術を中心とした医療のツールとしてのIT技術の役割は日増しに増大している。本講義では、診断・治療に供される最新の医用画像診断技術の動向について概説するとともに、IT技術を駆使した遠隔医療や、患者のプライバシーを確保するための各種のセキュリティー技術について講じる。なお、本講義では情報に関する専門的知識を必要としないよう、配慮する。</p>					

5. 医療の国際文化論						必修科目	
科目	1. 医療思想史	科目コード	4 0 5 1			医療管理	医療政策
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）						
担当教員	吉本 秀之（東外大）	単位	1	担当大学	B		
<p>知的な意味でも実践的にも、社会の諸分野との関連を深めて総合化する現代医療のあり方を再認識するために、現代世界の知的・制度的原理を作り出してきた西洋世界における、医に関わる思考の歴史のいくつかの局面をたどり、医の思想の近代における展開を、身体に関する考え方の変化や、近代の社会構造や産業システムなどとの関連で跡づけ、その到達点として世界的な課題となっている生命科学や現代医療のあり方を照らし出すとともに、今後の諸課題を考える。ギリシアの治療神アスクレピオスや新しい治療神イエスの提起する「癒し」とは何かという基本的問いから始め、医療というものを、言葉を通して生を組織する人間の営み全体のなかに置き直して考察する。</p>							○
科目	2. 世界の文化と医療	科目コード	4 0 5 2				
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）						
担当教員	真島 一郎（東外大）	単位	1	担当大学	B		
<p>グローバル化の波が世界の諸地域に与える影響をめぐる種々の議論が生じており、医療政策の分野もけつて例外ではない。多言語化、多民族化が進む我が国で、今後この分野での仕事に携わるものは、諸地域間の文化落差、死生観のちがい、医療概念及びその実態に関する一定の知識と理解が要求される。本講義は、これらの要請をふまえ、世界各地の地域文化研究者によるリレー方式で行われる。</p>							
科目	3. 世界の宗教と死生観	科目コード	4 0 5 3				
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）						
担当教員	丸山 空大（東外大）	単位	1	担当大学	B		
<p>今や医療においてもグローバル化が進み、日本人の患者だけを治療対象としておれない状況が生まれてきた。国籍や人種を越えて、担当患者の全人的な癒しを志す場合、当人の文化的宗教的背景に対して、一定の知識と理解を備えている必要がある。また異文化・異宗教への理解を深めることは、日本人と日本文化に対する再発見を惹起するだろう。そのような意図の下、本講義では世界各地の宗教文化における死生観について考察する。</p>							

6. 施設設備と衛生管理						必修科目	
科目	1. 病院設計・病院設備	科目コード	4 0 6 1			医療管理	医療政策
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）						
担当教員	藤井 晴行（東工大）	単位	1	担当大学	C		
<p>建築計画の基本について概説する。病院施設の地域的計画、全体計画、各部門(病棟・外来・診療・供給・管理等)計画の基礎的事項について、人・物・情報の流れ、建物形態、面積規模、利用者への配慮等の観点から講述する。病院計画におけるプロジェクト推進のプロセスを紐解き、良い病院建築の骨子を探る。また、病院施設に求められる物理化学的環境とそれを創出する設備(空調機と給排水衛生等)および関連する省エネルギー手法等について講述する。これらに関する病院施設の事例を紹介する。</p>						○	○
科目	2. 衛生工学・汚染管理	科目コード	4 0 6 2				
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）						
担当教員	鍵 直樹（東工大）	単位	1	担当大学	C		
<p>医療施設における衛生的環境の確保は病院内感染の予防に向けた重要な課題であり、医療施設の管理運営や医療政策の実務を専門とする者は、医療施設内の衛生に関わる工学の基礎的知識を有し、汚染管理の基本理念を理解している必要がある。本科目では、施設の汚染管理の面から、汚染管理の原則、隔離手法、汚染源と汚染物質、空気清浄と空調機、水利用、クロスコンタミネーションの防止、病院の廃棄物と処理、エネルギー管理などについて講述する。</p>						○	

7. 経営戦略と組織管理						必修科目	
科目	1. 医療とリーダーシップ	科目コード	4 1 0 4			医療管理	医療政策
科目責任者	岡田 就将（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
<p>病院など医療に関係する組織の運営には、職員の専門性や提供するサービスの公共性、対価として得られる報酬などの面で、他の一般サービスを提供する組織運営とは異なる点が多い。また、ニーズは変化(中長期的な変化とともに危機対応など短期的なものも含む)が見込まれており、その変化を先取りした組織転換を主導するリーダーシップへの期待も大きい。このことは、固有の組織のみならず、医療政策そのものについても言える。特に、データヘルスや疾患予防など我が国の大規模な政策転換が求められる状況においてはその重要性は増すばかりである。本科目では、各分野の識者からの講話等を通じて、保健医療分野での組織運営や政策決定におけるリーダーシップの発揮を可能とする要因を理解し、それを支える方法論についても学ぶ。</p>						○	○
科目	2. 戦略と組織	科目コード	4 0 7 1				
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）						
担当教員	堂免 隆浩（一橋大）	単位	1	担当大学	D		
<p>組織の経営には、どのようにすれば目標を達成できるかという(外的な)問いと、そもそも組織をどのようにすれば維持できるかという(内的な)問いがある。外的な問いにかんして、組織は、経営環境の変化を的確に把握し、時代状況に適合した経営体の使命(ミッション)を確立し、使命の実現のための戦略が必要となる。内的な問いにかんして、組織を維持し機能させるために管理コストの抑制が必要となる。このような組織経営にかんする知識や思考法の習得を目的として、ヘルスケア組織の経営戦略と組織管理について考える。</p>						○	○
科目	3. 財務・会計	科目コード	4 0 7 2				
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）						
担当教員	荒井 耕（一橋大）	単位	1	担当大学	D		
<p>医療提供を主たる事業とする経営体の経営管理者にとって、経営体が健全に運営されているか否かを常に把握しておく必要がある。また権限委譲した現場管理者に経営者として期待する方向に向かって努力を促す必要がある。会計システムはその最も有力な手段の一つであり、会計情報の理解と活用は経営者にとって不可欠の素養である。また、各時代の医療水準、各地域の医療ニーズに対応した医療を提供し続けるためには、しっかりした財務基盤が必要である。</p>						○	
科目	4. 医療の人間工学	科目コード	4 0 7 3				
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）						
担当教員	顧 秀珠（東工大）	単位	1	担当大学	C		
<p>人間工学とは、人間特性や処理メカニズムに適合させることで、人間にとって好ましいものを創り出していくための学問である。人間工学に存在する体系化された多くの知識・ツール・ノウハウは、人間中心型(患者中心型)の医療組織マネジメントを支援するための管理技術として活用できる。この授業では、人間工学の基本的な概念、考え方を解説したあと、人間工学の医療への適用研究の事例をもとに、そこで利用するアプローチ、手法を紹介・解説する。</p>						○	
科目	(休講) 5. 人的資源管理	科目コード	4 0 8 1				
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）						
担当教員		単位	1	担当大学	D		
<p>人的資源管理は、人が仕事を通じて自ら職業人としてのみならず、人間としても成長したいという欲求を有していることを前提として職業能力と人間性の向上を支援する人事方針・計画、配置・移動、就業管理、人事評価、報酬管理、能力開発などの諸制度の設計と運用に関する管理思想・管理技術である。本講義では、現在の医療経営に適合的な人的資源管理のあり方を考究する。</p>						○	

8. 医療における情報発信						必修科目
科目	1. 医療とコミュニケーション	科目コード	4091			医療管理
科目責任者	伏見 清秀（医科歯科大）					
担当教員	岡田 昭人（東大外大）	単位	1	担当大学	B	
<p>最近、「インフォームド・コンセント」という言葉はよく取り上げられるようになってきたが、医療現場では、その他様々なタイプのコミュニケーションを円滑に行うことが不可欠である。医療現場は、まさに「人と人とのコミュニケーション」の現場でもあるのである。本講義では、このような認識に基づいた上で、「会話分析」、「語用論」、「対人コミュニケーション論」、「異文化間コミュニケーション論」などの基礎的部分を概観する。それらを踏まえたうえで、「実際の医療コミュニケーションに関する研究」などを紹介し、「医療とコミュニケーション」について、理論的、実践的な観点から考察する。</p>						
科目	2. 歯医学総合概論	科目コード	3001			
科目責任者	大橋 健一（医科歯科大）	単位	2	担当大学	A	
<p>医療活動の重要性、主要な疾患に関する疫学、診断、治療、およびリハビリテーションの基礎的知識、社会に貢献する歯医学研究のあり方と進め方について授業する。疾病の診断、治療、予防及び疫学の基本的戦略、臨床医学・歯学の診断、治療における基本的原理に加え、歯医学を支える学際的な学問分野領域の重要性と可能性及び生命倫理とリスクマネジメントについても授業する。</p>						

9. 臨床疫学					必修科目
科目	1. 臨床研究・治験	科目コード	4 1 0 1		医療管理 医療政策
科目責任者	小池 竜司（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A
EBMの根拠となる臨床研究における無作為コントロール試験、症例対照研究、コホート研究、メタアナリシスの各研究デザインについて解説する。臨床疫学研究における生物学的バイアスの概念を講述し、医薬品の有効性及び安全性を総合的に解釈するための手法としてのファーマコメトリクスについて概説する。これらの知識を背景とした医療開発のプロセス、関連法令や指針、国内外の現状と展望について具体的に紹介し、問題点を検討する。					
科目	2. ビッグデータ解析学	科目コード	3 0 5 7		
科目責任者	田中 敏博（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A
医療政策および医療現場における意思決定には十分な情報の集積とそれに対する統計処理が重要となる。まず根拠に基づく健康政策の決定の実態について解説し、どのような情報と分析が有用であるのかを検討する。つぎに、情報の収集における留意点と統計処理について解説する。統計に関しては、アナログデータ（値）とデジタルデータ（度数）の挙動の違い、優越性試験と同等性試験の意義の違い、ネイマン・ピアソン統計（頻度統計）とベイズ統計（確率統計）の目的の違いなどを踏まえて、具体例を交えて医療統計の応用につき検討を加える。					
科目	3. DPCデータ分析概論	科目コード	4 1 0 3		
科目責任者	新城 大輔（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A
本邦の急性期医療において導入されているDPC制度に基づいて作成される病院業務データであるDPCデータは、本邦における医療情報基盤の一翼を担っていると考えられている。DPCデモデータを活用した分析実習等を通じて、データ活用事例を学ぶだけでなく実際の分析ノウハウの伝得を目指す。分析の前に必要な知識として、DPC制度等に関する最新の資料を配布し、プレゼンテーションを用いて講義を行った上で、地域医療分析等の実際の分析事例を紹介する。分析実習として、一般的な表計算ソフトウェアやBIツール等を活用した、データの可視化や診療の質指標の算出等を行う。また、近年活用がすすみつつあるNDBについてもその概要と分析事例を紹介する。					

10. 修士課程共通講義						必修科目	
科目	1. 医歯理工学先端研究特論	科目コード	3003				
科目責任者	大橋 健一（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
医歯理工学研究における専門的かつ最新の知見を含む講演やセミナーに参加することによって、最先端の研究領域についての見識を広め、学問的議論を行うことを目的とする。							
科目	2. 環境社会医歯学	科目コード	3017				
科目責任者	岡田 就将（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
環境社会医歯学に関連する諸問題について理解するために、医学・歯学・工学に重点を置きながらも、多領域にわたる学際的なアプローチによって学習を進める。							
科目	3. 医歯薬産業技術特論	科目コード	3037				
科目責任者	岸田 晶夫（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
医療に資するための研究を遂行する場合に、目先の成果に捕らわれる近視眼的な研究ではなく、実用化までを俯瞰した骨太な研究戦略を構築できる能力の獲得をめざし、基盤的な知見について講義する。現役の許認可担当者あるいは企業研究者を招聘して、許認可あるいは研究開発の現場について、実用化までのハードルについて許認可側あるいは開発側からの視点でそれぞれ講義を行う。							
科目	4. 医療データ科学概論	科目コード	3074				
科目責任者	高橋 邦彦（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
医療に資するための研究を遂行する場合に、目先の成果に捕らわれる近視眼的な研究ではなく、実用化までを俯瞰した骨太な研究戦略を構築できる能力の獲得をめざし、基盤的な知見について講義する。							
科目	5. 疫学基礎	科目コード	3079				
科目責任者	藤原 武男（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
疫学の基礎を理解し、臨床研究論文を適切に解釈し執筆するための土台をつくる。							

						必修科目	
						医療管理	医療政策
科目	6. 生物統計学基礎	科目コード	3080				
科目責任者	高橋 邦彦（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
生物統計学の基本的な解析手法についての復習および理解を深め、臨床疫学研究における適用について学習する。							
科目	7. 生物統計学応用I	科目コード	3081				
科目責任者	高橋 邦彦（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
生物統計学を応用した発展的な課題として、ベイズ統計学およびメタアナリシスの基本的事項と実践について学習する。							
科目	8. 生物統計学応用II	科目コード	3082				
科目責任者	高橋 邦彦（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
生物統計学を応用した発展的な課題として、薬剤疫学および医療分野におけるAIの活用について、その基本的事項と実践について学習する。							
科目	9. 臨床試験方法論基礎	科目コード	3083				
科目責任者	平川 晃弘（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項(試験デザイン、ランダム化、盲検化、エンドポイント、解析対象集団、サンプルサイズ設計等)を体系的に学習する。							
科目	10. 臨床試験方法論応用	科目コード	3084				
科目責任者	平川 晃弘（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
効率的な臨床試験方法論として注目されている群逐次デザイン、アダプティブデザイン、ベイズ流デザイン、プラットフォーム試験等について学習する。また、がん領域特有の臨床試験デザインについても学ぶ。							
科目	11. 口腔疫学基礎	科目コード	3085				
科目責任者	相田 潤（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
歯科口腔疾患の疫学の基礎を理解する。国際的なコンテキストを理解して論文がかける土台をつくる。							
科目	12. 疫学応用	科目コード	3086				
科目責任者	相田 潤（医科歯科大）	単位	1	担当大学	A		
疫学の発展的な内容を理解するために、統計ソフトを用いた解析の実際や発展的な内容を学習する。							

※ 担当大学欄の記号は科目担当大学を示す。

- A：東京医科歯科大学担当科目
- B：東京外国語大学担当科目
- C：東京工業大学担当科目
- D：一橋大学担当科目

※ 担当教員氏名は現在の予定であり、変更される場合がある。